

Japan Water Agency  
水機構 ニュース

# NEWS

筑後川  
水系

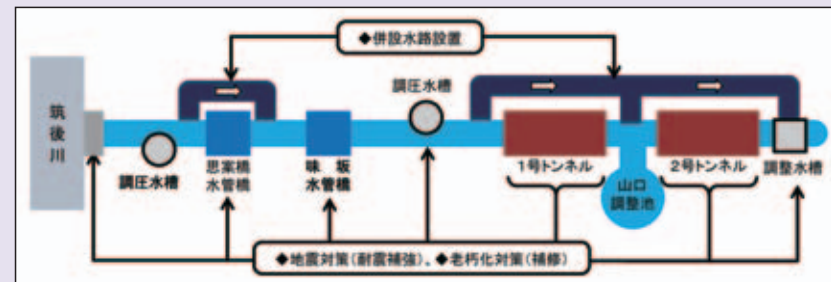
●福岡導水総合事業所（福岡県）

## 福岡導水施設地震対策事業の事業実施計画認可～ 福岡導水総合事業所発足

11/19に「福岡導水施設地震対策事業に関する事業実施計画」が主務大臣（厚生労働大臣）の認可を受け、翌11/20に福岡導水総合事業所が発足しました。

本事業は、昭和58年の通水開始から30年以上を経過した、福岡都市圏の約1/3と佐賀県基山町の全量の水道用水を供給する重要なライフラインである福岡導水施設の従前の機能を回復するとともに、大規模地震に対する耐震性能を確保するものです。

職員一同一致団結し、施設の日々の維持管理・配水管理（用水の安定供給）を行いつつ、平成44年度までの15年間の予定で事業の着実な進捗に努めて参ります。



計画概要図及び事業位置図

●朝倉総合事業所（福岡県）

## 小石原川ダム見学者 千人達成セレモニー開催！

福岡県朝倉市及び東峰村に建設中の小石原川ダムは、平成28年4月にダム本体工事に着工しました。ダムのことを多くの人に知っていただくことを目的に同年7月から、原則毎月第2土曜日に「小石原川ダム工事現場見学バスツアー」を開催しており（平成30年10月からは第4土曜日追加）、11/10（土）の見学会で見学者数が千人に到達しました！これに併せて、見学者千人達成セレモニーを開催し、千人目の山崎 瞭くん（12歳）に認定書を交付しました。



見学者の皆さんと記念撮影



ご家族と記念撮影

利根川  
水系

●利根導水総合事業所（埼玉県）

## 「命のバトン」2018利根大堰 サケ遡上・採卵観察会を開催

11/10、利根川で生まれ、産卵のために毎年故郷の利根川に帰ってきたサケを利根大堰の魚道で捕まえて採卵する「2018利根大堰 サケ遡上・採卵観察会」を開催しました。採卵したサケの卵は、利根導水総合事業所において稚魚となるまで育て、来年2月に地元小学校の児童により利根川に放流されます。

首都圏へ水を送る利根導水は管理を開始してから今年で50年の節目を迎えました。この機会に、利根導水のこれまでの歩みや役割について多くの方々に知っていただくため、併せて「利根導水管理50年報告会」も行いました。



## 国土技術研究会にて優秀賞！

11/1～2、国土交通省が主催する「平成30年度 国土交通省 国土技術研究会」が開催されました。これは、住宅・社会資本整備行政に係る技術課題などについて、本省、地方整備局、特別の機関などが連携を図りつつ調査・研究を行い、技術の向上と行政への反映を図ることを目的として開催されています。

水資源機構もこの研究会の自由課題（イノベーション部門Ⅰ）で木曾川用水総合管理所 電気通信課 藤本生が「タブレット端末を用いた直営点検の効率化」について発表し、優秀賞を受賞しました！



木曾川用水総合管理所電気通信課 藤本生

防災  
訓練

## 首都直下地震防災訓練に参加しました

国土交通省関東地方整備局主催の首都直下地震防災訓練（11/9）は、各機関が連携して実施する道路啓開※・航路啓開や大規模浸水地域の排水などの実働訓練を通じ、オペレーションの機能性等を確認し、実効性のある計画を策定することを目的とした訓練です。水資源機構からは、排水ポンプ車を荒川河川敷（東京都江戸川区）に出動させ、国土交通省の災害対策車両とともに14台の隊列を編成し、江東デルタゼロメートル地帯の氾濫水排除訓練を行いました。

※啓開…土砂やがれきなどの障害物を取り除いて水路や陸路を開くこと。

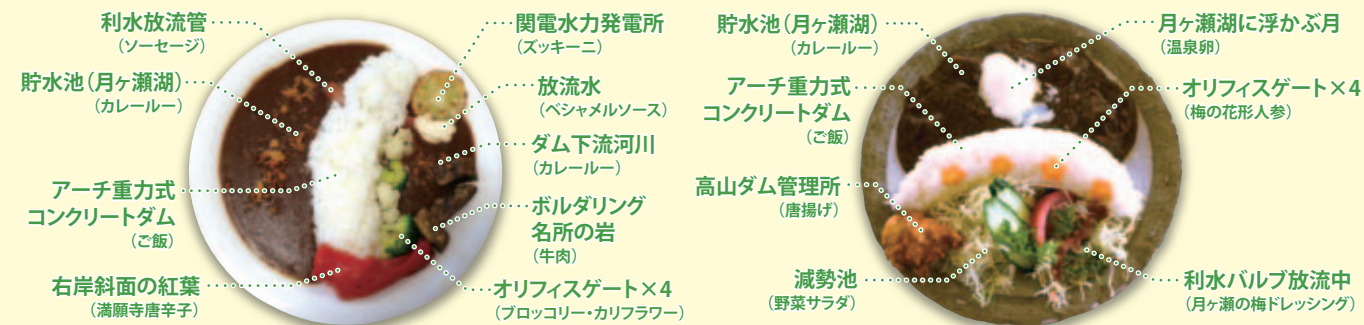


淀川  
水系

●木津川ダム総合管理所（三重県）

## 定番メニューに仲間入り！ 高山ダムカレー

京都府南山城村にある高山ダムをモチーフにした「特製高山ダムカレー」が「天然わかさぎ温泉 笠置いこいの館」にて販売されています。アーチ重力式コンクリートダムの綺麗な曲線を型取ったご飯と野菜たっぷりのカレーが、定番メニューに加わりました。ちなみに、「梅の郷 月ヶ瀬温泉」でも同様に高山ダムカレーが販売されていますので併せてお召し上がりください！



## 天然わかさぎ温泉 笠置いこいの館

京都府相楽郡笠置町隅田24

## 梅の郷 月ヶ瀬温泉

奈良県奈良市月ヶ瀬尾山2681番地

2018 ミス日本  
「水の天使」

# 矢木沢ダム・奈良俣ダムを視察



11月16日、2018ミス日本「水の天使」の浦底<sup>うらそこ</sup>里沙さんが矢木沢ダム、奈良俣ダム（群馬県利根郡みなかみ町）を視察されました。「水の広報官」の役割を担う浦底さんに、首都圏の水がめである矢木沢ダムと奈良俣ダムがどのような役割を果たし、どのように管理されているかを知っていただく良い機会となりました。

ダムの視察の前には、「旅館たにがわ」が提供する「みなかみダムカレー」を召し上がっていただきました。ダムの視察は今回が初めてのことでしたが、視察前に、アーチ式（矢木沢ダム）、重力式（藤原ダム他）、ロックフィル式（奈良俣ダム）の3種のダムの形状について、ばっちり予習をしながら、本格派のカレーの味を堪能していただきました。

視察先の矢木沢ダム、奈良俣ダムでは、「ド迫力！現地に来てみないとわからないですね。」と、早速、巨大インフラ施設の一つであるダムの魅力を感じていらっしゃいました。また、機構職員による、ダムの役割やその必要性に関する説明には、熱心に耳



を傾けていらっしゃいました。

視察の終わりには、「蛇口をひねれば当然のようにきれいな水が出ること、川の水が常に安定した量が保たれていることについて、普段は全く意識していませんでした。高所での作業や豪雪などの自然の猛威といった危険と隣り合わせの環境の中で、ダムをしっかりと管理してくれている方々の存在があるからこそ、私たちの安心安全で豊かな暮らしが保たれているということを、再認識しました。」と、水インフラ施設の管理者に対する感謝の気持ちを語って下さいました。機構職員にとって、大変励みになる言葉であり、日々の仕事に打ち込む活力を与えてくれました。「水の天使」として、「水」にまつわる経験を積み重ねてきた浦底里沙さんの今後の更なるご活躍に注目です。

